

# ぼれぼれ通信



自衛隊機による  
海外での邦人退避作戦

7・8月号  
**vol.71**

4月24日、戦闘が続くアフリカ北部の輸送機によって退避してきたのである。日本人が海外で危険な状態に巻き込まれ、自力で退避出来ない場合に自衛隊が助けに来てくれる



# 平和安全法制や自衛隊法改正により実現可能となった在外邦人等の保護措置・輸送作戦

と考へてゐる読者も多いかもしないが、以前は、それには乗り越えなければいけないハードルが沢山あり、そう簡単には行かなかつたのである。有事の際、邦人の輸送、退避、保護を担うのは紛れもなく日本国の責務であり、日本国には、国民の生命と財産を守る第一義的責任がある。日本政府内の手続きとしては、外国における緊急事態が発生した場合、在外邦人等の輸送を実施する際は外務大臣が防衛大臣に保護を要する邦人の輸送を依頼し、防衛大臣が自衛隊に行動命令を下す。そして、邦人は、あらかじめ大使館などからアナウンスされている集合場所（在外公館、日本人学校等）に集まり、セキュリティーチェックや出国手続きを済ませ、空港・港湾から日本又は近隣の安全地域へと自衛隊により輸送される。では、集合場所に向かっている邦人が、バリケード等で移動できない、暴徒に取り囮まれ身動きが取れない、誘拐された・されそうな場合な

ど、集合場所までたどり着けない場合はどうなるのか？自衛隊が助けに来てくれるのか？実は、昔は、法的な問題で出来なかつた。しかし、平和安全法制が成立したことによつて自衛隊が生命又は身体に危害が加えられるおそれのある邦人を保護しに行くことが可能になつた。

加えて、昨年四月に在外邦人等の輸送のための準備行為にあたつての閣議決定は不要になり、より迅速に早期に準備行為に取り掛かることが出来るようにした。

自衛隊の海外拠点が  
あつて本当に良かつた

今回の作戦で幸運だつたことは、スー<sup>ダ</sup>ンの近隣国であるジブチ共和国に自衛隊の拠点があつたことである。ソマリア沖、アデン湾を航行する日本の船舶の安全を確保するためには、海賊対処の任に当たつている部隊の拠点がジブチ共和国にある。その拠点には滑走路も備

わつており、自衛隊機を派遣するにあたつても他の空港に派遣するのであれば事前の調整や輸送機の駐機場所の交渉など様々な手続きが発生するが、今回は、自衛隊の拠点に、それも自前の滑走路がある拠点に自衛隊機を派遣するので、迅速に前方展開することが出来た。

また、以前は在外邦人の輸送は原則として政府専用機を使用することとしていたが、これも昨年四月の自衛隊法改正により緊急事態における輸送機の有用性を勘案し、政府専用機使用の原則を削除した。更に、自衛隊法改正前は、日本国籍を有する者が一義的な対象で、仮に日本人を輸送する際に余席があれば、そちらに外国籍の方も乗せられることになつていたが、そもそも日本国籍の方がいなければ行くこともなかつた。改正後は外国籍の方であつても我が國

以前の自衛隊法では、緊急事態時の在外邦人の退避にあたつての実施要件として、輸送を安全に実施することが出来る、という規定が出来た。しかし、過去の派遣事例における意思決定の実績の積み重ねを踏まえ、この規定も昨年四月の自衛隊法改正時に削除し、輸送において予想される危険やそれを避ける方策を講じることが出来るときには、輸送を行うことが出来ると改めた。

幸運が更に続いた。自衛隊法の条文には書かれてはいないが、もう一つ重要な実施要件があるのだ。それが、当該国の同意を得ることである。つまり自衛隊が在外邦人の輸送を行う場合、今回のケースで言えばスー<sup>ダ</sup>ン政府の同

れている方も輸送の対象とした。今回は、邦人及びその家族の方々45名を自衛隊機によつて退避させることが出来た。

意が必要なのである。同条文に書かれていないのは、それが国際法上の大前提だからである。だが、察しの良い読者は、気が付かれたかもしれないが、交戦状態が続く中、政府機能が正常に動いているのか、機能不全を起こしていたらどうなるのか。幸いなことにスー丹ン政府は機能しており、在日スー丹ン大使館と在スー丹ン日本大使館との連携も取れ、スー丹ン政府の同意を得ることが出来た。



▲海外のどんな場面でも必ず必要なパスポート

## 自國のことは 先ずは自國で

そして、恐らく一番幸運だつたことは、スー丹ン政府と戦闘行為を行つたことであろう。その瞬間を狙つて邦人輸送を行うことが出来たのである。

当初、関係する諸外国の政府・軍関係者は、スー丹ン近郊のジブチ共和国内の米軍基地に集まり、情報収集や情報共有を行つてゐたが、突然、米軍が在スー丹ン米国大使館への米国人退避輸送作戦を行つてからは、ジブチ共和国の宗主国であつたフランスの基地に集まり、同様の情報収集や情報共有を行うようになつた。そのような環境下で大きな変化が生じたのは、日本が国家として自前のアセット※1を現場に持ち込み実際に自国民の退避輸送作戦を実施してからのことであつた。

集まつてきてゐる諸外国の将校や連絡要員から「日本は、次は、いつ退避輸送を行うのか?我々は、いつ日を考え中だ」などの先方にとつても機微な情報を提供してくれるように变化してきたのだ。もちろん、それには日本が持つてゐる情報も先方が欲しいという意図があるからである。加えて、実際に退避輸送を実施した、その意思と能力を頼りにしたい国々も出始めたのである。しばしば、欧米諸国の軍関係者が、国連や多国籍での活動の際に「チップをベットしろ!」と言うそうである。与えられた任務をゲームに例え、賭けられた物(チップ)をゲーム盤(テーブル)に置いて賭けろ(ベット)と、つまりアセットをテーブル(作戦の机上)に乗せて実際に動け、ということである。まさに、今回の邦人退避輸送は、日本が自衛隊のアセットを現地に派遣し、邦人退避を自ら行つた。その意義の大きさが、各国から寄せられた情報などの質が格段に上

## 山本ともひろ 活動レポート

がつたことからも良くなかった。他方、一抹の不安を感じさせたのが、某国の軍人が「日本が、自衛隊のアセットを持ってきてやつていなかつたら、我々も我が国の輸送機に日本人を乗せていなかつたかも知れない」とつぶやいたそうだ。あくまでも現場にいた一軍人の個人的感想と言えば、それまでであるが、その発言を聞いて、命がけで自国民の救出に向かって、その際に友好国だからと言つて無条件で易々と助けられるものではない、お互いが助け合うから成立することもあるのだ、と受け止めることが出来る強烈な一言だと山本は受け止めた。今まで、法的な制約によつて自衛隊が実際に動けずには他國に頼る場面ばかりが目立つていたが、平和安全法制や自衛隊法の改正により、困つている國民を助けに行けるようになつたことは、大きな前進だ。



▲自衛隊のジブチ拠点の2900回任務飛行達成時

職を経た元海将の大塚海夫氏が務めていたことも大きかつたであろう。このような邦人輸送時に、ど方支援があれば、自衛隊がスムーズに活動できるのかよく理解されている大使が現地にいたことが、

このように様々な幸運と巡り合わせが重なり、邦人退避が実現された。邦人を自衛隊の輸送機まで案内していた自衛官が、後ろで「おゝ！こんな凄い飛行機に乗れるんだ！帰つたら友達に自慢しよう！」と言つてゐる少年に気が付き、「そうだろ、凄いだろ！」と声を掛けようと思いつき返つたら、その少年が泣いていたそうだ。安全に帰国できることになった。安全に帰国できることから涙がこぼれたのである。今回の邦人退避の事案を見るにつけ、これからも自衛隊が国民の生命と財産を守れるようになります。引き続き必要な法整備を行つていく決意を新たにした山本であつた。

現場の指揮官や隊員も心強かつたと容易に推察される。

※1 資産。転じて自衛隊では装備品や人員など作戦に必要な一式をまとめてアセットと呼称している。



# 会議室を一般開放しています

事前予約のみで会議室が使用できる!

JR鎌倉駅(西口)の目の前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの事務所だけでなく、会議室として一般開放を行っています。事前のご予約のみでご利用いただけるので、地域や町内の活動のための会議などにぜひご活用ください! また、定期的なご使用や、商業目的のご使用の場合は、別途ご相談いただければと思いますので、まずはお気軽に下記山本ともひろ事務所までお問い合わせください。

※公職選挙法の関係で、無料で開放することができないことから、使用料をいただきますこと、ご了承ください。



▲自由民主4区会館の外観



▲第1会議室



▲第2会議室

## 自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料	
第1会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円
第2会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円

## ■山本ともひろ事務所

神奈川県鎌倉市大船1-22-2 つるやビル301  
TEL.0467-39-6933



# 駅で「ぽれぽれ通信」を お配りしております **駅頭活動報告**

統一地方選挙も終わり、コロナも5類に移行し、いよいよ活動出来る！  
と思った矢先に骨折し、機動力が低下しましたが、条件付きでDr.の許可も降りたので再始動です！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



### 前回の「ぽれぽれ通信」配布数

5月・6月集計分

駅名	5月	枚数	6月	枚数	前月比
逗子駅			26日(月)	252	—
逗子・葉山駅			5日(月)	283	—
鎌倉駅(東口)			6日(火)	245	—
鎌倉駅(西口)			8日(木)	326	—
大船駅(西口)			28日(水)	264	—
大船駅(モノレール口)			29日(木)	243	—
大船駅(東口)			23日(金)	291	—
大船駅(笠間口)			15日(木)	257	—
本郷台駅			22日(木)	276	—
港南台駅			27日(火)	239	—
	5月配布合計		6月配布合計	2676	—

5月は本人が骨折を  
させたために実施出来  
ませんでした。

簡単にアクセス  
できます！

Twitter facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQRコードを読み取りください。(iPhone除く)



Twitter



Facebook



HP

# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党  
衆議院議員(5期 14年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
48歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?



「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

## ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-22-2 つるやビル 301

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和5年(2023年)7月1日発行 第71号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。